

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
「われら産業調査隊」(60時間)											
【ねらい】	○商店・工場・農家などに出かけ、それぞれの仕事を調べることを通して地域の産業を知り、それをまとめ・発信するとともに、働くという人間の営みに対する理解を深め、自分も社会の一員として生きようとする気持ちを育てる。										
【構成概念】	Ⅰ 多様性 Ⅱ 相互性 Ⅳ 公平性 Ⅴ 連携性 Ⅵ 責任制										
【重視する能力・態度】	①批判的に考える力			③多面的、総合的に考える力			⑥つながりを尊重する態度			⑦進んで参加する態度	
【評価規準】	・自分たちが住んでいる地域の産業を調べることを通して、自分に必要な情報を検討・整理し、 <u>意見を交換し合いながら考えを深め</u> 地域の産業について考えることができる。			・自分たちが住んでいる地域の産業を調べることを通して、それらを自分・地域・社会など様々な視点からとらえ、関連付けて考えることができる。			・自分たちが住んでいる地域の産業を調べることを通して、地域の産業のおかげで、自分の生活があることを実感することができる。			・自分たちが住んでいる地域の産業を調べることを通して、地域の産業のために、 <u>自分たちが貢献できること話し合い、進んで考えようとしている。</u>	
単元名「われら産業調査隊」 ～甚目寺の伝統産業を知ろう～ (7時間) 【ねらい】 ・自分たちが住んでいる地域の伝統産業を知ることにより、地域の産業に興味をもち、地域を愛する心をもつ。 【学習活動】 ①甚目寺の伝統産業である刷毛について知ろう。(2時間) ②刷毛組合の方の話を聞こう。 【出前授業】(1時間) ・刷毛の歴史について ・作る行程について ・刷毛の種類について ・これからの刷毛産業について ③刷毛産業についてのまとめをしよう。(4時間) ・聞いたこと、調べたことを今後の学習の資料にする。 【地域人材・関係機関】 ○刷毛組合(刷毛会館) 単元名「われら産業調査隊」 ～甚目寺の主な産業を知ろう～ (7時間) 【ねらい】 ・自分たちが住んでいる地域の主な産業を知ることにより、地域の産業に興味をもち、さらに深く調べようとする意欲を高める。 【学習活動】 ①甚目寺の主な産業について知ろう。(2時間) ②産業に関するオリエンテーション(1時間) ・農業について ・工業について ・商業について ・今後の産業について ③甚目寺の産業についてのまとめよう。(4時間) ・聞いたこと、調べたことをまとめる。 ・甚目寺の主な産業のまとめをもとに、より深く調べたいことをまとめる。 ・調べたことを発表する。 単元名「われら産業調査隊」 ～甚目寺の産業を調べよう～ (30時間) 【ねらい】 ・自分たちが住んでいる地域の産業を調べる活動を通して、地域に生きる人々とふれ合い、地域への愛着をより一層深めるとともに、よりよい郷土にしていこうとする意欲をもつことができる。 【学習活動】 ①<u>甚目寺の産業の中で深く調べたいことについて話し合おう。</u>(4時間) ・グループごとに取材先を決める。 ・取材で聞きたいこと、見てきたいことをまとめる。 ②取材に行こう。(2時間) ・グループに分かれて取材活動を行う。 ③取材をもとに調べよう。(6時間) ・<u>取材してきたことをもとに、グループで話し合い、インターネット、本、パンフレットなどを活用して調べ学習を進める。</u> ④まとめ方・発表の仕方を考えよう。(14時間) ・まとめ方を考える。 ・発表の仕方を考える。 ・発表する。 ⑤見つめ直す。(4時間) ・発表会后、学習の振り返る中で、自分たちが産業の発展のために何ができるのか考える。 【地域人材・関係機関】 ○地元企業(アイカ工業・佐藤工業・石光工業・刷毛組合・タンゲ化学) ○甚目寺駅前商店街(商店街:とくら・榎文・龍鳳堂・米勇・馬場鮮魚店・伊藤畳店) ○地元農家(小松菜農家・方領大根農家) ○農協 ○甚目寺商工会 ○あま市役所 単元名「われら産業調査隊」 ～甚目寺の産業を応援しよう～ (16時間) 【ねらい】 ・地域の産業のよさを再確認するとともに自分たちの住む地域を誇りに思い、地域の一員として、地域の産業のために自分たちが貢献できることは何かを具体的に考え、地域に働きかけることができる。 【学習活動】 ①これまでの取り組みをふり返り、地域の産業の発展ために<u>自分たちに何ができるかを話し合い、考える。</u>(2時間) ・これまでの取り組みを振り返る。 ・地域の産業の発展のために自分たちにできることを考える。 ②地域の産業の発展のために自分たちが地域に貢献できることを行動に表し、地域に働きかけよう。(8時間) ・計画を立てる ・行動に表していく。 ・地域の市に参加する。 ③地域における自らの生き方を考える。(6時間) ・自らの生き方を考える 【地域人材・関係機関】 ①市公共施設 ②商店街 ③甚目寺観音「手づくり市」											

※ 本年度の現職教育の重点課題である「話し合い活動」に関する記述には、下線を引いて示しました。